

第6回 新宮ダムの堤体挙動等に関する技術検討会 審議結果

日時：平成26年5月29日（木）13:00～15:30

場所：大阪コロナホテル 本館3階会議室310号室

出席：阪田憲次座長、浅井敏彦委員、鎌田敏郎委員、佐々木隆委員、渡辺博志委員
※河野広隆委員および箱石憲昭委員は都合により欠席

資料：資料1 議事次第
資料2 洪水吐きゲート操作性について
資料3 堤体下流面の漏水について
資料4 現地状況について

審議内容

1. 洪水吐きゲート操作性について

平成26年4月までの堤体挙動についての報告、および変位抑制工の設計概要と施工後のモニタリング計画について審議が行われた。その結果、変位抑制工の施工後のモニタリングについて、計測項目の目的をより明確にし、評価における重要度・優先度を付けて整理するとともに、異常が確認された場合の対応等について明確にしておく必要があるとされた。

2. 堤体下流面の漏水について

今回説明された水平打継面の状態の推定に基づく堤体の安定性の評価結果では、現状において早急に対策を要する箇所はないと考えられるが、さらに状態推定の確度向上を図るべきとされた。

3. 現地状況について

隙間センサは、計器の測定限界や時期による堤体の変位方向を踏まえて設置時の離隔を調整することが望ましいとされた。

4. 今後のスケジュールについて

次回検討会は、平成27年2月頃に現地での開催予定を検討することとされた。

以上